

### 第56回「世界召命祈願の日」教皇メッセージ

#### 「神との約束のために危険を顧みない勇氣」

2019年5月12日の「世界召命祈願の日」にあたり、教皇がメッセージを発表している。「神との約束のために危険を顧みない勇氣」と題し、主の呼びかけ（約束）の豊かさ、それに大胆に応えるために必要な勇氣について、また、そのために必要な司牧について語っている。メッセージは「私たちの人生に対する主の愛の計画を見いだすことができますように。私たちのために主がつねに考えてくださっている道を、危険を顧みずに歩む勇氣が与えられますように」との教皇の祈りで結ばれている。全文はカトリック中央協議会のウェブサイトに掲載されている。

### 世界広報の日（献金日）

5月26日は「世界広報の日」で指定献金日となっています。集められた献金は日本の教会と福岡教区の広報活動のために使用されます。福音宣教における広報の重要性を再認識し、広報を通して社会と人々に関わっていく積極的な活動のため、ご協力をお願いします。（3面に関連記事）

### 『カトリック福岡教区報』年間購読料の改定

2019年4月10日の役員会にて、『カトリック福岡教区報』年間購読料の改定が承認されました。本紙の定価が一部70円となり、1部＜年11回発行＞の年間購読料は1760円となります（変更前1340円）。2部以上の場合は30部までは本紙代金のみ加算となりますので、以前より年間購読料は安くなります。詳細は今月号と共に配布の文書を参照ください。何卒ご理解の上、今後とも購読よろしくお願いたします。



灯された復活のろうそくが高く掲げられた

暮れ残る聖堂に、復活のろうそくが灯された。約300人の会衆にその灯が分かちあわられていった。大名町教会で今年度司牧実習を行っている稲田祐馬助祭（長崎教区）によって復活賛歌がリードされ、主の復活の喜びの歌声が聖堂に響いた。「こぼれ典」では、旧約聖書から5つの箇所が朗読され、救いの秘儀

宮原司教は説教で、今年の教区目標「信じる喜びから伝える喜びへ」に触れ、この日、大名町教会で入信の秘跡（洗礼／堅信／聖体）をうける4人の存在は教会活動の裏りだ、と述べた。「洗礼は神からのめぐみですが、信仰の喜びは人を通して伝わるものです。『キリストが命を懸けて、罪深い私を救ってください』との喜びは、独り占めにするものではなく、誰かに伝えたいとなるのではないのでしょうか。信者は誰一人、お

カトリック教会では「春分の日の次の満月の後の日曜日」に復活祭を祝う。2019年は例年より遅く、ツツジの花が街を彩る季節の復活祭となった。福岡教区の司教座聖堂、大名町教会（主任司祭＝杉原寛信）では4月20日（土）の19時から、宮原良治司教主司式の復活徹夜祭ミサが捧げられた。

## カテドラルでの復活徹夜祭 信仰の喜びを響かせる



主のご復活 おめでとうございます アレルヤ。私たちの過越、キリストはほふられた。主のうちにともに喜びましょう。（復活の主日のアレルヤ唄）

について味わう時となった。栄光の賛歌と共に、カテドラルの鐘が響き、祭壇のろうそくが灯された。その後、新約聖書からローマ書とルカ福音書が朗読され、キリストの復活についての御言葉に会衆は耳を傾けた。



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡教区  
編集人 下町豊重  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部70円

### 5月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう  
【福音宣教】アフリカの教会、一致のからし種  
【日本の教会】子どもの健全な成長

4月17日（水）、カテドラル大名町教会では、聖香油ミサが行われた。宮原良治司教と司祭団約60人が共同司式し、修道者、神学生、信徒約350人が声を合わせ祈った。宮原司教の「聖香油のミサと共に司祭職制定の記念のミサの中で、すべての司祭が喜びのうちに活躍できるように祈りましょう」との導入の言葉と、叙階記念60周年、50周年、25周年を迎えた3人の



司教が聖香油に息を吹き入れる

司祭の紹介があつてミサは始まった。途中、司祭が秘跡の執行に用いる「病者の塗油のための香油」、「洗礼志願者のための香油」、「洗礼式・堅信式・叙階式のための香油」が司教によって祝別された。司教は香料《バルサム》を混ぜ、息を吹き入れ、祝別の祈りを唱え、その間、司祭団一同は手を差し伸べ、心を合わせて祈った。香油は聖霊が注がれて聖なるものとなった。

この日は「司祭職制定」の記念でもある。司祭団は叙階の約束を更新し、神に選ばれ、油注がれて司祭職に与かっていることを確信し、心新たにした尊い時を過ごした。宮原司教は説教で、「司祭職の充満は司教と司祭団と助祭団の交わりと一致のうちに現存し

## 聖香油ミサと司祭職制定の祝い 神からの司祭職に感謝を！

司教が聖香油ミサで香油を聖別した。ミサには教区内の司祭団や修道者、信徒が大勢参列した。司祭職制定の記念でもあるこのミサは司教と司祭団の一致を示すしるしであり、司教の祭司職の充満を現すものである。

## 時の話題

### 信仰は喜びのうちに

去る3月21日、カテドラルにて多くの皆様の祈りの中でペトロ船津亮太助祭の叙階式が挙行されました。これまでたくさん祈りと励ましを頂き、まことに有難うございました。叙階の恵みは船津助祭だけにではなく、福岡教区、後輩神学生たちにとつて励みであり希望にもなり、まさに神様からの賜物でした。さて、主の祭壇への召命は「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださいるよう、収穫の主に願いなさい」（マタイ9章38節）と、賜物として特別に願ひ求めるように教えられています。しかし、ただ与えられるものではなく、わたしたちの中から生み育てるものでもあります。従つて、これを機会にわたしたちの信仰生活の裏りとして司祭・修道者の召命として捉え直す機会です。つまり、わたしたちが受けた神様の招きに応えることによつて、その結果、賜物として叙階の恵みが与えられるのです。これまで日本の教会は外国からの宣教師に導かれま

4月8日の祝いの誕生を祝う宣教行事である「灌仏会（花祭り）」を前に、4月5日（金）、宮原良治司教は教皇庁諸宗教対話評議会からのお祝いのメッセージを持って、福岡市内3カ所のお寺を訪問した。臨済宗の祖である栄西によつて日本で最初に建てられた禅寺で、日本茶の発祥の地としても知られる福岡市博多区の臨済宗聖福寺（細川白峰住職・福岡市仏教会会長）、博多区千代にあるキリシタン大名でもある黒田如水、黒田長政などを祀る黒田家菩提寺の崇福寺、そして、中央区唐人町にある曹洞宗の吉祥寺で

この教皇庁からのメッセージを持って福岡市内のお寺を訪問するのは今年で6年目。「いつも打ち解けていいお話ができています。出かけて行くことで理解し合い、喜びになり、出向くことの裏りを感じます」と、宮原司教は諸宗教対話の意義を語る。

ミサ後には一階講堂で、司祭叙階60周年を迎えたフラン

共々に傷ついた世界をいやす

今年テーマは、『ともに人間の連帯を促す』とキリスト者。メッセージの最後「皆様の花祭りが、分極化し傷ついたこの世界をいやす手だてとして、人間愛を再発見し促す機会となりますように、お祈りいたします」と結んでいる。

司教、花祭りにお寺を訪問 共に傷ついた世界をいやす

コ・ソットコロノラ神父（聖ザベリオ宣教会）と50周年のハリイ・オカローラ神父（聖コロンバン会）と25周年の湯浅俊治神父（長崎教区・サンスルピス司祭会）を祝った。三人はこれまでの神の恵みと人々の支えに感謝の言葉を述べた。

たが、状況は変化しました。教会はこれまで以上に困難な道を歩むことになるでしょう。だからこそ、信仰の危機感を持つ事が求められます。神様と共に歩むことに喜びを感じているでしょうか。

福岡カトリック神学院 開校式

現代世界に感じる司祭養成

福岡カトリック神学院(院長 山崎美神父(サン・スルピス司祭会/長崎教区))の開校式が4月1日(月)、同神学院の聖堂で行われた。長崎教会管区5教区の神学院としての新たな門出に、約130人が集い、祈りをささげた。新しい「司祭養成基本綱要」(2016年教皇庁聖職省発布)に則し現代世界の求めに応じる司祭を養成する、との神学院の使命を共有する時となった。同神学院は神学生17人と養成担当司祭4人でスタートする。



ミサは高見三明大司教(長崎教区)が主司式し、ジョゼフ・チエノットウ駐日教皇大使が奉読された。

ミサ説教は中野裕明司教(鹿児島教区)が行った。

使、長崎教会管区4人の司教、各教区の神学生養成担当者や九州の修道会司祭、神学院の教員・養成者など、約40人の司祭団が共同司式した。ミサ開式直後に湯浅俊治神父(同神学院養成者(サン・スルピス司祭会/長崎教区))によって、福音宣教省による福岡カトリック神学院設立許可

2016年に発布された司祭養成綱要に触れ、その養成が「召命の旅」として捉えられていることが重要だとした。叙階までの神学生としての歩みも、それぞれの段階に応じた目標設定があると説明した。

また、再び日本に2つの神学院を設けることについて、良く検討した結果であり、それぞれの風土を大切にしながら、新しい息吹を願うとも語った。

閉祭の儀では、まずチエノットウ大司教が挨拶に立ち、キリストの光が私たちの内に輝くように、謙虚さ、誠実さ、透明性を大切に養成されてほしいと神学生に語った。次に高見大司教は開校式を迎える喜びと感謝の言葉を述べ、神学生数と経済負担の課題があるが、これまで以上に祈り支えてほしいと参列者に伝えた。

神学院の養成を委託されたサン・スルピス司祭会カナダ

管区長のホルヘ・パチエコ神父は、真の牧者であり養成者であるキリストの導きのもとに、神学生に同伴し、現代世界の求めに応じる司祭を養成していく決意を語った。また、霊的、人間的、共同体的、知的、宣教的な養成を大切にしたいと述べた。

最後に院長の山崎神父が今年度の入学者(哲学1年6人と在校生(哲学2年1人、神学3年6人、助祭4人)と養成者を紹介。多くの協力を得ながら、この地から良き司祭が育っていくよう最善を尽くしますと語った。

ミサで共同祈願をささげた若狭千賀子さん(福岡・大名町教会)は「大きなお恵みです。2つの神学院がそれぞれの特色を活かしながら、日本の宣教のために1つの心で一緒に働いていけると感じました」と話す。

ミサ後、神学院の食堂を会場に祝賀会が開かれ、喜びを分かち合った。

信じる喜びから伝える喜びへ③ 悲しむ人々は、幸い

悲しんでいる人を見て、「あなた幸せね」と言ったら、言われた当人は、からかわれているのではないかと思ってしまう。怒り出すか、あるいは、更に大声を上げて泣き出すか、あるいは、驚いて相手を凝視するか、大方そのような反応が返ってくるのではないだろうか。ルカ福音書の中の、「今、

泣いているあなた方は幸い」と言われた、イエス様の相手への口調は、お祝い事がある時、誰かに「おめでとう」と言う時のそれです。

泣いている人が幸いなのではないか。それは、第一義的に「慰められる」から、つまり、神様がその人を慰めてくださるからです。悲しみの経験は、しばしば人を変えます。特にその際、イエス様に出会った人は、人生が変わります。悲しみのどん底でイエス様に出会った人は、そこから立ち上

がらせてくださる、復活されたイエス様にも出会うからです。そのような体験を通して、人は、ユングの言う「傷ついた癒し人」になっていきます。つまり自分の悲しみの体験が、他の人の悲しみの体験を理解する助けとなり、それが他者の癒しに繋がっていきます。叙階された当時の私も、悲しむ人から相談を受けた時、「そうですね」と頷いていたと思いますが、その時の私の対応は、単に言葉だけの相手への奉仕だったと思えます。司祭になり年限を重ねます。司祭になり年限を重ねます。司祭になり年限を重ねます。



使徒的勧告『喜びに喜べ』

ら立ち上

ら立ち上

ら立ち上

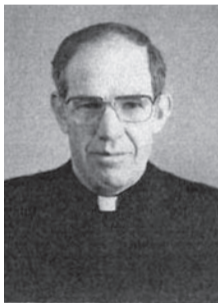
計報

レオ・ベーカー神父 (聖コロンバン会)



3月27日、オーストラリア、メルボルンの老人ホームで帰天。享年96。1923年、同国に生まれ、48年に司祭叙階。50年来日。福岡教区では、60、68年、手

ヴァンセント・ヤンキヤンプ神父 (聖コロンバン会)



4月4日、米国ロードアイランド州の老人ホームで帰天。享年86。1932年同国ミズーリ州に生まれ、59年司祭叙階。60年来日。62年から2008年まで、途中幾度か他教区で

「教区の日」報告書より② 筑後地区 小郡教会 観に来ませんか

「教区の日2018」のミサの中で奉納された「小郡教会信仰活動報告書」。各地区1つの教会の報告を要約して紹介していく。今回は筑後地区、小郡教会の取組み。

教会の運営は信徒皆の協力で成り立っている。それが出来るだけこれに奉仕できるように、ミサ典礼奉仕の分担、教会委員会委員などの人数も増やし、出来る時に出来ることに参加してもらえようように協力を呼び掛けている。主日のミサ後は、別館旧聖堂のザビエルホールを開放して、信徒の交流の場として提供。図書やカトリック新聞、福岡教区報、行事写真など

が閲覧できるようにしている。そこで月に2回は喫茶を実施。毎週土曜日には広報委員人数が午後から活動。神学生の実習期間中は一緒に活動の協力を得て関係を深めている。土曜日の午後は信徒以外の来訪者が意外と多いが、だれでも受け入れてお茶の接待もしている。

対外的には、老人施設訪問ボランティアを毎月1回。今年度は会員も増えた。また、路上生活者支援も行っており、年間4、5回作ったおにぎりを各種宗教団体と協力して配っている。また、隣接するカトリック幼稚園との交わりも大切に考えている。特記すべきは、365日開

働いたが、在日50年の多くを福岡教区、特に熊本県内のほぼすべての教会で宣教司牧にあたった。聖コロンバン会九州地区長、日本管区長を歴任、また、学校や病院のチャプレンでも奉仕した。2011年に故国に帰国。

小野 敏子 修道女

3月28日に帰天。享年89。修道生活64年。

山野 清子 修道女

4月2日に帰天。享年90。修道生活71年。

2018年度最大の「平和活動」として、11月25日から一週間、「秋の平和週間」を企画し、当教会でコンサートや展示、講演会を行った。目的は、平和への祈りと実施を近隣地域へ呼び掛け、一緒に平和について考え、出会いや実践につなげるものとするためである。

【月例黙想会】 期日：5月11日(土)17時～12日(日)15時 指導者：染野治雄 神父(御受難修道会) 【講演会のお知らせ】 講師：来住英俊神父 6月8日(土)14～16時「殉教の霊性を考える」 ◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください カトリック御受難修道会・福岡黙想の家 811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30) Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

【奉獻生活者のための黙想会】 ①5月18日(土)夕～25日(土)朝 ②6月21日(金)夕～28日(金)朝 ③7月20日(土)夕～27日(土)朝 指導：①②来住英俊神父 ③染野治雄神父 PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン ヴィノ デ ミサ VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰 〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち 草苑 カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社 TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

福岡地区青年会黙想会

君は愛されるため生まれた



修道院の聖堂で沈黙のうちに作業に取り組む参加者たち

3月30日(土)の午後、福岡地区青年会主催の青年のための黙想会が、福岡市内のイエズス会福岡修道院を会場に開催された。10人の青年が集い、テーマ「君は愛されるために生まれた」の黙想を深めた。

初めに粘土を使ったワークショップを行い、参加者らは「神さまが私を創っている気持ちで時を過ごす」ように招かれた。その後、沈黙のうちに聖堂や修道院周辺で時を過ごし、神との対話のうちに祈りを深めた。プログラムは、グループでの分かちあい、イ・ハヌン神父(浄水通・茶山教会協働)のお話し、と進み、最後はバンド演奏のミサで感謝をささげた。イ神父は「『私はある』という神によって、私たちは『ある(存在している)』だけで、肯定されていることを感じてほしい」と青年たちに伝えた。

参加者の感想:

- ☆神さまが自分をどう創ったかを粘土でつくるのは、日ごろ体験できない、素敵な自己表現だと思いました。
☆粘土のワークショップから黙想に入ったことが良かった。普段は黙想をしても、すぐに他のことを考えたり、眠くなったりしますが、今回は自然に集中できて、私を創ってくださった神さまのことも考えることができました。
☆粘土が苦手だった子どもの頃を思い出しました。できたものは、想像していたものと少し違っていただけ、「おー、こうなったか」と可愛らしく思いました。暖かい光ときれいな桜のもとで、個人黙想、神父様のお話し、少人数ながら大きな歌声に包まれたミサを通して、神さまの愛の大きさをじんわりと感ずることができました。



宮原司教より辞令を受け取る新任教諭ら

教区立幼稚園辞令交付式と新任研修会

3月30日(土)、大名町教会講堂で宗教法人カトリック福岡司教区幼稚園、学校法人福賀マリア学園、学校法人福岡聖マリア学園の辞令交付式と新任研修会が行われた。

宮原司教は、「幼児教育に携わるカトリック幼稚園の教職員が、謙遜になって他者から学ぶ姿勢を構築し、すべてを受

け入れ、仕える心を豊かにしてほしい」と諭した。後、辞令交付式があり、新任21人(新園長・新副園長などを含む)が各法人理事長から辞令を手渡された。新任教諭の代表者は、「カトリック幼稚園で働けることを誇りに思います。キリスト教の精神を培い、子ども達の成長に寄与して参ります」と力強く誓いの言葉を述べた。

北九州地区信徒徒職協議会

3月10日(日)、2018年度最後の北九州地区信徒徒職協議会代表者会議が開かれた。北九州地区信徒徒職協議会は「第2バチカン公会議の信徒徒職に関する教令に基づき、福岡司教区北九州地区の信徒徒職活動を推進し、特に福音宣教師活動を円滑に行うこと(会則より)を目的として設置されている。構成メンバーは北九州地区13小教区の代表各教会2人と担当司教。

今回の議題は大庭英樹会長(戸畑教会)他の退任を受けての次期新執行部決定。2019年度の予定等。次期会長は田中拓さん(水巻教会)に決定。8月4日に第19回平和の集い、10月14日に「デイエゴ加賀山準人殉教400年祭」を、また、好評の聖書講座を今年も数回行うことが決定された。今年には特に、加賀山準人殉教400年祭に力を注ぎ、一年を通して殉教者に関して理解と祈りを深めていくことが確認された。

修道女が受け持った。松川シスターは「冬を越したアゲハチョウのように羽ばたいてほしい」と話し始め、「1、子どもが安心して生活できるように心を砕きます。2、子どもの自由と自立の援助に寄り添い続けよう」との教職員紹介。そして、幼児教育に携わることの重要性と責務を述べ、「経験積みながら、よりよい環境作りを力注ぐようにすること」など、新任教諭に望むことを語った。

最後は、教区主管の青木悟神父が「宗教法人の就業規則」を説明して締めくくった。期待される新任教諭たちの目は輝いていた。

教区ウェブサイト刷新プロジェクト進行中

福岡教区のウェブサイト(ホームページ)を刷新するためのプロジェクトが進んでいます。様々な世代と背景のメンバーによるチームで話し合いを進めています。<福音宣教師を目的として、信者でない人にも教区民にも、「聴いの場」「道・真理・いのちに触れる場」「養成の場」「奉仕アクションにつながる場」となることを目標としています。今後、更なる詳細を分かち合い、各地区、団体、委員会と協力しながら進めていきたいと思っています。どうぞ温かく見守り、ご協力ください。

「カトリック新聞」で世界・日本の教会と出会い、つながろう!

「カトリック新聞」は日本のカトリック教会が発行する唯一の週刊全国紙です。教皇メッセージや日本の各地の教会の様子などが週刊に届きます。4週おためし試読もあります。是非購読を! カトリック新聞社 購読係 ☎03-5632-4432

「世界広報の日」(献金日)に

5月26日(日)は「世界広報の日」で指定献金日となっています。集められた献金は日本の教会と福岡教区の広報活動のために使用されます。フランススコ教皇は2019年の「世界広報の日」にあたりメッセージを発表。「私たちは、互いに体の一部なのです(エフェソ4章25節)をテーマに、インターネットメディアの功罪を考察し、広報による宣教師が福音的なものになることを望んでおられます。広報活動が主の栄光と人々の善益のために用いられるよう、祈りと働きと献金による協力をお願いいたします。(福岡教区情報センター)

長崎教会管区災害支援担当室 ボランティアベーススタッフ養成について

長崎教会管区司教団は、管区内で災害が発生した場合の対応について協議する「長崎教会管区災害支援担当室」を2018年4月より設けました。昨今、気象などの変化により、九州地方でも災害の発生率が増大し、また大災害につながる恐れもあるからです。被災者への迅速な支援活動を行うため、また多く訪れるであろうボランティアに対する対応を、被災した教区だけで行うのではなく、管区全体で行うことに目的があります。そこで、ボランティアベースの立ち上げや運営について、少しでも知識などを持った人を増やしてこうと、担当室ではスタッフ研修という形で、現在も活動している東北のボランティアベース(南相馬・石巻・南三陸・大船渡)へ行ってくれる人を探そうということになりました。研修期間は、第1回目は6月の第2週~第4週内の10日間ほどを予定しています。その間に実際にボランティアベースのスタッフとして携わっていただき、主にベースの運営、公共機関との連携や地元住民とのつながり、ボランティアの受付などを経験することを第一に、また被災した当時からベース活動へ携わっている人から直接、現地をどうするかともとても大事なことになります。研修に行った人が必ずスタッフとして被災地へ行くわけではありません。こういう知識を持った人を多くすることによって、災害に対する準備を整えていくことを目的としています。詳細は、日程が決まり次第、各教会へFAXにてご案内いたします。(教区災害被災者支援室)

今、これからの時代を生きていくために、信仰のあり方や持ち方を教えてくれる先達たちの言葉が語られる。現代を生き抜く信仰への入門書。サンパウロ発行 税込価格1728円

女子パウロ会発行 価格(1冊)500円+税 ☆信仰の秘訣—先達二〇〇人からのメッセージ 須永和宏著

「ミサってなあに」「ロザリオのいのり」「じゅうじかのみちゆき」 イラストとやさしく簡潔な文章で学べる、おいのりシリーズ。ミサ、ロザリオの祈り、十字架の道行きについての3冊。初聖体の準備にぴったり。初めてキリスト教に触れる大人にもわかりやすい内容となっている。

不動産全般/売買・賃貸・管理 存んでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 ・一般住宅(新築・改築工事) ・鉄骨工事 ・RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山 森山 新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 ☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時30分~PM5時 日曜/AM11時~PM2時(定休日水曜・祝日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから 伝える喜びへ

世界召命祈願の日 5月12日(日)
世界広報の日(献金) 5月26日(日)

カテドラル大名町教会よりお知らせ

◆大名町教会1階講堂改修工事が5月13日(月)~31日(金)に予定されています。この期間、1階講堂は使用できません。
◆鐘楼外壁工事のため、5月13日(月)~6月6日(木)の期間、仮設足場が設置されます。車の出入りにご注意ください。

教区信徒養成部主催 聖書講座

信仰生活を照らすために、ヨハネ福音書を読みましょう
第1回テーマ:洗礼者ヨハネの証し及び最初の弟子たち
日時:5月26日(日)14時~16時(隔月第4日曜日)
場所:カトリック大名町教会 4階会議室
講師:森山信三神父(福岡コレジオ院長)
参加費:1000円 ※旧新約聖書を持参のこと
問合せ:☎080・5246・1816 島山

佐賀地区宣教司牧評議会主催 講演会

※どなたでも参加できます。自由献金。
日時:5月26日(日)13時~16時
場所:カトリック佐賀教会 聖堂
講師:古巣馨神父(長崎教区)
問合せ:☎0952・23・4754 佐賀教会

結婚講座(福岡・熊本地区)

<福岡地区>
日時:5月11日~6月8日 毎土曜日 18時半~20時半
場所:カトリック大名町教会
問合せ:☎092・741・3687
<熊本地区>
日時:5月11日~6月8日 毎土曜日 19時~21時半
場所:カトリック手取教会
問合せ:☎096・352・3030
※参加費:カップルで10,000円(カップルでの参加が原則)

福岡地区カトリック女性の会 総会・講演会

日時:5月11日(土)10時~総会
13時~14時半 講演会、14時45分~ミサ
場所:カトリック大名町教会1階講堂
講演テーマ:真の人間教育
講師:関根悦雄神父(イエズス会)
参加協力費:500円(弁当希望者は別途500円)
申込〆切:4月28日(日)
問合せ:☎090・1084・2955 川原

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

◆熊本地区召命を共に祈る会
(日時)5月16日(木)10時半~12時(場所)手取教会信徒会館(内容)ミサと分かち合い(問合せ先)☎096・368・2825 健康教会・浦川神父
◆ガツリア・アッシジ作品展
何も自分のものとせず(日時)3月18日(月)~8月11日(日)(場所)熊本県山鹿市久原2743(内容)油絵と水彩・木版画、アッシジのフランシスコの生地やイタリアの街並みなどを表現した作品(問合せ先)☎070・5083・3993 平井(※来廊の際には必ず事前にご連絡ください。)

◆セントポール福岡より
セントポール FUKUOKA は4月30日(火)~5月4日(土)と5月6日(月)はお休みします。5月5日(日)は開店します。
◆嘉松宏樹師(長崎教区)福岡カトリック神学院
◆大山悟師(大分教区)サン・スルピス司祭会 福岡カトリック神学院
◆泉類治師(イエズス会福岡修道院)長崎二十六聖人修道院へ(4月25日移動予定)
◆染野治雄師(御受難修道会宗像修道院)宝塚本部修道院へ(5月連休後移動予定)

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日:9:30~12:00
14:30~20:00
土曜:9:30~15:00
休診:日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 5・6月

5月 2日(木)~4日(土) クルシリヨ
2日(木)~5日(日) 日本心身医療学会
4日(土) ロザリオの会
11日(土)~12日(日) 月例黙想会(募集中)
18日(土)~25日(土) 奉獻生活者のための黙想会(募集中)
18日(土)~19日(日) 後援会黙想会
20日(月)~22日(水) プロテスタント修養会
6月 1日(土) ロザリオの会
5日(水)~6日(木) 召命を共に祈る会
9日(日) ぬくみカフェ講演会(貸切)
※お電話またはメールでお問合せください。
\*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email:f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ:「祈り」神秘体験〜キリストによって神との出会い
日時:5月9日(木)10時~15時
内容:「わたしは復活であり、命である」(ヨハネ11・25)
指導者:フランコ・ソットコルノラ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先:真命山諸宗教対話・靈性交流センター
次回:6月13日(木)「わたしが命のパンである」
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時:5月11日(土)・25日(土) 10時~11時45分
6月 8日(土)・22日(土) 10時~11時45分
場所:カトリック大名町教会小聖堂

2日(木) クルシリヨ(~4日)
3日(金) 初金ミサ・サーリスの集い 憲法記念日
4日(土) クルシリヨ講話・派遣ミサ みどりの日
5日(日) 復活節第3主日 こどもの日
6日(月) †E.デイキン(2005年 人吉教会)
7日(火) †トマス須賀澤公男(2016年)
8日(水) 諸宗教部門会議
9日(木) 常任司教委員会
12日(日) 復活節第4主日 世界召命祈願の日
†T.キルケニー(2018年)
13日(月) 西日本司祭団親睦ソフトボール大会
†R.ハー(2013年 古賀・光丘教会)
14日(火) 司祭評議会・教区本部会議・責任役員会
†J.フィネティ(2001年 美野島)
責任役員会 †G.ゲルクマン(2018年 泰星学園)
†ミカエル中浜一男(2005年 浄水通教会・事務局長)
15日(水) 復活節第5主日
23日(木) 臨時常任司教委員会
†L.グロージャン(2006年 八王子)
25日(土) 復活節第6主日 世界広報の日(献金)
26日(日) 司教顧問会議・(宗法)幼稚園園長会
28日(火) 聖母の訪問
31日(金)
【6月】
2日(日) 主の昇天
†ヨセフ松永久次郎司教(2006年)
3日(月) †V.マテオ(2002年 黙想の家)
4日(火) 福岡カトリック神学院会議
6日(木) 常任司教委員会
7日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
†P.ダイヤモンド(2006年)
■ゴチックは司教日程

福岡

◆レジオマリエ福岡クリア
(日時)5月12日(日)14時から
(場所)高宮教会(問合せ)☎090・9654・9969 日吉
◆聖書に集う会
(日時)5月8日(水)14時~15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆震災のための祈りのリレー
(日時)5月11日(土)ミサ6時40分から・夕の祈り(テゼの祈り)16時から(場所)聖心のウルスラ宣教女修道会福岡修道院(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆黙想と祈りの集い『アゼ』のブラザー・ギョームを迎えて(日時)5月17日(金)19時~20時半(場所)日本福音ルーテル箱崎教会(福岡市東区箱崎3-32-1)(問合せ先)☎080・3227・8295 柚(そま) / ☎092・721・2031 Br.阿部(パウロ会)
◆聖ドミニコ信徒会集會
(日時)5月18日(土)15時~17時(場所)箱崎教会(指導)アントニオ李神父(ドミニコ会)(問合せ先)☎092・651・3867 箱崎教会
◆カルメル在世会集會
(日時)5月20日(月)10時半から(場所)福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(指導)大瀬高司神父(カルメル会)(問合せ先)☎095・828・2350 鶴池
◆福岡召命を共に祈る集い
(日時)5月21日(火)13時半から(場所)大名町教会
◆グレゴリオ聖歌を歌う会
(日時)5月21日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)聖母マリアに捧げるグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・380・5686 堺
◆第19回がん哲学外来「ぬくみカフェ」(日時)5月25日(土)14時~16時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階(ゲスト)木村病院安らぎ病棟/宮尾和代師長(参加費)5000円(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田
◆ラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)(日時)5月31日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます!◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時◆ホームレス支援夜回り毎月第1金曜日・調理14時~夜回り20時◆路上からアパルトに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 M・コース神父
◆第77回福岡典礼聖歌研修会
(日時)6月2日(日)14時から(場所)笹丘教会(テーマ)深堀純氏参加費・感謝献金(問合せ先)☎092・541・3730 松山
◆ミサ聖歌研修会
(日時)6月16日(日)13時から(場所)福岡黙想の家・ザビエル聖堂(内容)ミサ曲詩編の歌い方など(講師)深堀純氏(参加費)自由献金(問合せ先)☎0940・32・3222 福岡黙想の家

熊本

◆北九州召命を共に祈る会
(日時)5月9日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・24・9905 藤井
◆小倉祈りの集い
(日時)5月24日(金)13時半~15時(場所)小倉教会信徒会館2階(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209 松田

北九州

◆福岡カトリック神学院
【福岡カトリック神学院】
ベトロ 船津亮太(久留米) 助祭・神学科4年
◆ヨハネス・マリア・ミカエル 古市匡史(浄水通) 神学科3年
◆マルチェリノ チョン・ウオンチヨル(韓国テグ教区・新田原) 神学科3年
◆イグナチオ 吉浦 哲学科1年
(伊万里)
【福岡コレジオ】
◆アシジのフランシスコ 萩原篤志(今村) 短大2年
◆パウロ 横山 智(久留米) 大学1年
【長崎カトリック神学院】
◆ヨハネ 鈴木 涼太郎(今村) 高校1年
【離任】
◆酒井 淳師(大阪教区)日本カトリック神学院 大阪教区・田辺教会へ
◆平田 直師(大分教区)日本カトリック神学院 大分教区・宮崎教会へ
◆泉 類治師(イエズス会福岡修道院)長崎二十六聖人修道院へ(4月25日移動予定)
◆染野 治雄師(御受難修道会宗像修道院)宝塚本部修道院へ(5月連休後移動予定)

神学生紹介

◆セントポール福岡より
セントポール FUKUOKA は4月30日(火)~5月4日(土)と5月6日(月)はお休みします。5月5日(日)は開店します。
◆嘉松宏樹師(長崎教区)福岡カトリック神学院
◆大山悟師(大分教区)サン・スルピス司祭会 福岡カトリック神学院
◆泉類治師(イエズス会福岡修道院)長崎二十六聖人修道院へ(4月25日移動予定)
◆染野治雄師(御受難修道会宗像修道院)宝塚本部修道院へ(5月連休後移動予定)

◆セントポール福岡より
セントポール FUKUOKA は4月30日(火)~5月4日(土)と5月6日(月)はお休みします。5月5日(日)は開店します。
◆嘉松宏樹師(長崎教区)福岡カトリック神学院
◆大山悟師(大分教区)サン・スルピス司祭会 福岡カトリック神学院
◆泉類治師(イエズス会福岡修道院)長崎二十六聖人修道院へ(4月25日移動予定)
◆染野治雄師(御受難修道会宗像修道院)宝塚本部修道院へ(5月連休後移動予定)

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日:9:30~12:00
14:30~20:00
土曜:9:30~15:00
休診:日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930